

2023 年度 事業報告書

2023 年 4 月 1 日から
2024 年 3 月 31 日まで

一般社団法人 日本ゴルフ用品協会

2023 年度 事業報告書

I. 法人の概要

1. 設立年月日

社団法人設立昭和 57 年 7 月 3 日（平成 25 年 4 月 1 日に一般社団法人に移行）

2. 定款に定める目的

この法人は、ゴルフ用品の品質、性能の向上と安全性を確保しつつ、生産及び流通の合理化と消費者対策の改善を図って、ゴルフ用品産業の健全な発展に努め、もって、国民の体育と生活の向上に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- 1) ゴルフ用品の生産、流通及び消費に関する調査
- 2) ゴルフ用品の生産技術の開発及び安全性の確保
- 3) ゴルフ用品の品質及び性能の規格化の推進
- 4) ゴルフ用品の模倣品や偽造品防止対策
- 5) ゴルフ用品の工業所有権の保全
- 6) ゴルフ用品の普及、啓蒙の促進
- 7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁

内閣府 大臣官房 公益法人行政担当室

事業の相談は 経済産業省 製造産業局生活製品課

5. 会員の状況

1) 2023 年 4 月 1 日現在の正会員、賛助会員の数

| | | |
|-----------|-------|----------|
| ① 正 会 員 | 239 社 | |
| ② 賛 助 会 員 | 10 社 | 合計 249 社 |

2) 2023 年度中に入会された正会員、賛助会員の数

| | | |
|-----------|------|---------|
| ① 正 会 員 | 10 社 | |
| ② 賛 助 会 員 | 0 社 | 合計 10 社 |

3) 2023 年度中に退会された正会員、賛助会員の数

| | | |
|-----------|-----|--------|
| ① 正 会 員 | 6 社 | |
| ② 賛 助 会 員 | 1 社 | 合計 7 社 |

4) 2024 年 3 月 31 日現在の正会員、賛助会員の数

| | | |
|-----------|-------|----------|
| ① 正 会 員 | 243 社 | |
| ② 賛 助 会 員 | 19 社 | 合計 252 社 |

6. 役員の状況

| | | | |
|--------------------|-----------|---------|----------------|
| 会 長 | 1 名 (非常勤) | 常 任 理 事 | 13 名 (非常勤) |
| 副 会 長 | 3 名 (非常勤) | 理 事 | 18 名 (非常勤) |
| 専 務 理 事 | 1 名 (常 勤) | 監 事 | 3 名 (非常勤) |
| ※ 理事合計 36 名、監事 3 名 | | | (2024.3.31 現在) |

7. 主たる事務所と事務局の構成及び支部の状況

1) 主たる事務所 東京都千代田区神田須田町 1-18-2 須田町パークビル 8F

2) 事務局の構成

| | | | |
|-----|-------|---------------|----------------|
| 理 事 | (常 勤) | 1 名 (専務理事・男子) | |
| 職 員 | (常 勤) | 2 名 (女子 2 名) | (2024.3.31 現在) |

3) 支部の状況

東 日 本 支 部：東京都千代田区神田須田町 1-18-2 須田町パークビル 8 階

西 日 本 支 部：事務所無し

中 部 日 本 支 部：事務所無し

II. 主たる事業内容

1. 会員の増強と組織の活性化 (総務委員会・広報委員会)

1) 広報紙 J G G A ニュースを隔月奇数月発行 (年間 6 回)

- ・協会の主催事業及び協力事業の報告、各支部の活動報告、各委員会の活動報告、国内外の情報、市場データの紹介、業界の活性化活動の状況など幅広い情報の中から、隔月に開催される広報委員会において編集作業を行い適宜掲載した。
- ・2023 年 1 月号より、SDG s の観点から、紙での発行を撤廃し WEB での配信のみとした。

2) OFFICIAL HANDBOOK (会員名簿) の発刊

- ・2023 年 SDG s の観点から紙での発行を撤廃しホームページ上での公開とした

3) SNS (ホームページ、Instagram) の有効活用

- ・ジャパングolfフェア、JGGA ニュースの紹介、事業内容の紹介、業界情報のリンク、バナーによる関連団体の活動内容の紹介、製造渉外委員会で検討した各種取決め情報等のほか新着情報は「お知らせ」でタイムリーに掲載した。またHPの更新頻度を高め閲覧者の増加、情報発信の強化が図られた。

2. 教育・研究事業 (講習会委員会・流通委員会・製造渉外委員会)

1) 「第 47 期ゴルフ用品販売技術者講習会」

- ・コロナ感染の第 5 類への引き下げもあり、4 年振りとなるリアル開催とした。また遠隔地からの受講、小売店様からの受講考慮し、引き続き WEB での講習会も併設し、認定試験は e-ラーニングで実施した。

①講習会の目的

ゴルフクラブ及びゴルフ用品の科学的基礎知識を修得し、理論に基づいた販売技術の向上を推進すると共に消費者へのサービス向上とゴルフ用品産業のレベルアップに貢献することを目的とする。

②「第 47 期ゴルフ用品販売技術者講習会」実施報告

会期 : WEB 講習会…2023 年 8 月 22 日 (火) ~24 日 (木) 3 日間

認定試験…8月25日(金)～8月31日(木) 7日間

参加費 :リアル参加 82,500円、WEB参加 77,000円(いずれも税込)

※会員員外はいずれもプラス22,000円

会場 : AP市ヶ谷+ZOOMウェビナーによるWEB講習

講習科目:14科目 20時間40分

参加人員:93名(前回2022年97名)、参加企業29社(同27社)

男性63名(内非会員3名)、女性20名(内非会員2名)

リアル参加40名、WEB参加53名

JGGA非会員5社、5名の参加

※延べ受講者 4,289名

参加地域:20都道府県(同24都道府県)

2) 各種セミナーの開催

①「ゴルフ用品セミナー」

日程 :2024年3月8日(金) 13:00～14:30

会場 :パシフィコ横浜 アネックスホール F205 +WEB配信

テーマ :第一部「コロナ禍以降のゴルフ市場状況についての展望」

講師…(株)矢野経済研究所 フェロー 三石 茂樹氏

第二部パネルディスカッション「ゴルフ場を活用した地域創生について」

パネラー…(株)矢野経済研究所 フェロー 三石 茂樹氏

長崎県五島市市役所 文化観光課課長補佐 磯沖 淳一氏

モデレーター…フリーアナウンサー 山本 潤氏

参加者 :JGF会場内参加…62名、WEB参加…24名 合計…86名

②「R & Aセミナー」

日程 :2024年3月10日(土) 13:00～14:30

会場 :パシフィコ横浜 アネックスホール F202 +WEB配信

テーマ :「ディスタンスインサイトプロジェクトのアップデート」

講師 :R & A 最高技術責任者 スティーブ・オットー教授

同 エキップメントスタンダード マーク・グラタン博士

通訳 :JGA 規則部部長 大久保 裕司氏

参加者 :JGF会場内参加…50名、WEB参加…17名 合計…67名

3) ゴルフ用品業界への信頼向上、活性化への取り組み(製造渉外委員会)

■製造渉外委員会:2023年5/11、7/6、9/7、11/9、2024年1/11、2/29の計6回開催。

■サステナブル活動に関して

・環境配慮材について、製造渉外委員会として導入を推奨するに値する環境配慮材を「JGGA 会員企業の一部で採用されている環境配慮材のご紹介」と題して、JGGA HPに掲載、業界各社に紹介。

※製造渉外委員会から業界各社に紹介する環境配慮材の定義を、「製造渉外委員企業の複数社が採用しており、その環境配慮への効果、物性面の安全性、品質、入手経路について、製造渉外委員全員が認めた物」とする。

※JGGA 会員企業の一部で採用されている環境配慮材のご紹介

| | 対象アイテム | 推奨材料名 | 採用委員企業 | 環境配慮効果 | 材料供給メーカー |
|---------|--------------------------|-------------------------|------------------------|--|------------------------|
| クラブ梱包材 | エアバック ヘッドカバー袋 ヘッド袋 | バイオ プチ | グローブライト、キャスコ | ①再生原料 80% ②グリーンポリエチレンを約10%以上 ③その他、再生ではない原材 | 川上産業(株) 認証番号150019 |
| | | ナノ2エアセルマット | ヨネックス、(住友ゴム、ミスノの試験パス) | バイオマスプラスチック30%以上配合 | (株)和泉 |
| シャフト梱包材 | シャフト単体用袋 | バイオマスPEチューブ 植物由来 配合率25% | 日本シャフト、(藤倉コンボジットの試験パス) | 植物由来 配合率25% | 前田化成(株) |
| | | PE+バイオボン 25% | 藤倉コンボジット、(日本シャフトの試験パス) | 植物由来 配合率25% | ノボンジャパン(株) 認定番号,180052 |
| 輸送用資材 | ストロッチフィルム | ツカサ HKR15 | 日本シャフト、キャロウェイ、グローブライト | 再生材使用 使用量削減対従来品15/18 | 司化成工業 |

■ 2023 年度ガイドラインとして推奨している内容（2023.2.1 に“サステナブルガイドライン”を改訂）

- ①シャフト袋の廃止又は代替材への置換
- ②ヘッドエアバックの廃止又は代替材への置換
- ③ヘッドカバー袋の廃止又は代替材への置換
- ④ボールパッケージ窓部フィルムの廃止
- ⑤手袋パッケージ窓部フィルムの廃止
- ⑥キャディバッグ用プラアンコ材の代替材への置換
- ⑦トルクレンチの別売り（クラブ本体へのベタ付けの中止）

■ その他、本年度以降着手検討している案件

- ①紙製パッケージ、保証書等の FSC 認証紙等、環境配慮紙への置換
- ②カタログなど、紙そのものの削減
- ③グリップシュリンク材の廃止、環境配慮材への置換
- ④キャディバッグ袋（プラ材）の環境配慮材への置換
- ⑤植物由来インク導入
- ⑥PP バンド、梱包用テープ等、梱包資材の環境配慮材への置換（特にバラクラブ数本を同一箱に梱包する際に多く使用されている）緩衝材の環境配慮材への置換

■ R&A からの用具規則の 3 つの変更案についての協議

下記変更案がゴルフ業界に及ぼす影響を調査し、R&A に対しコメントを送付した。

①ボールの適合性を評価する標準総合距離（ODS）のテスト条件の変更（2028 年 1 月施行）

ボールの打ち出し条件の変更

- ・ヘッドスピード 120mph → 125mph
- ・打ち出し角 10 度 → 11 度
- ・バックスピン量 2530rpm → 2220rpm

※上記条件でトータル飛距離が 317 ヤード以内を満たすボールである事が求められている。

②ドライバーの「クリープ」現象についての検査方法の拡大

2024 年 4 月 1 日以降、以下の内容で実施。

- ・提出したヘッドの CT 値が、251 μ s – 257 μ s であるものの追加サンプルの提出。
- ・125mph で 150 回基準ボールをヒットした後の CT 値が 257 μ s を超えるものを不適合とみなす。

③ドライバーのオフセンターヒット時の許容性について

■ USGMC (U.S. Golf Manufactures Council) との交流について

- ・コロナ禍により途絶えていた、USGMC との交流を復活。2024 年 1 月のフロリダ PGA ショーにてミーティング

を実施し、主に下記について情報交換を行った。

- ①ルール改定への対応
- ②真贋ラベルの効果確認
- ③SDG's への取り組みについて情報交換

■ミーティング参加メンバー

Rawleigh H. Grove (USGMC 会長 Ping Vice President), Stephen P. Gingrich (USGMC 副会長 Cleveland Vice President), Michael J. Kline (Cleveland Director of Legal)
JGGA 田中委員長 (ミズノ) 平野副委員長 (住友ゴム)

■ゴルフクラブスペック測定ガイドラインの再取り組みについて

・2023年3月、ゴルフクラブスペック測定ガイドラインは、クラブ長さ測定法の60度法への置換を主題として改訂したが、その際その他の項目の各加盟クラブメーカー測定法の、ガイドラインとの合致度を確認したところ、一部項目に乖離度が高いものも見受けられた事を受け、合致度を高める活動を進める事の検討を開始した。

4) 製造物責任法 (PL法) に係る製品安全対策の推進

- ① 消費生活用製品の製品事故、製品苦情情報への対応
(一財) 生活用品振興センター、(一財) 製品安全協会より製品事故、製品苦情に関する情報提供や生活用品 PL センターインフォメーションなどの活用でそれぞれに連携を図る。

- ② 団体 PL 保険契約(東京海上日動火災)

新規入会会員への紹介を継続し本年度は9社と契約を更新した。

5) 物流の共同化に向けた研究 (流通委員会)

- ①「ゴルフ共同配送便」について経緯と現状

・「ゴルフ共同配送便」とは、これまでメーカー各社が得意先 (小売店) にそれぞれ送っていた荷物を提携運送会社が集約し、各店舗への配送を行う仕組み。JGGA ではこの事業を「ゴルフ共配便」と命名し JGGA 推奨事業として 2016 年 2 月より取り組んで来た。当初は集中化によるコスト効率向上を図り、出荷先を関東地区の量販店を対象にスタート。2018 年 4 月からは配送地域を全国に広げ、配送先も全業態に拡大し本格運用を開始、2018 年末には 7 社での運用となり出荷量も増えコスト削減効果も着実に実現してきた。

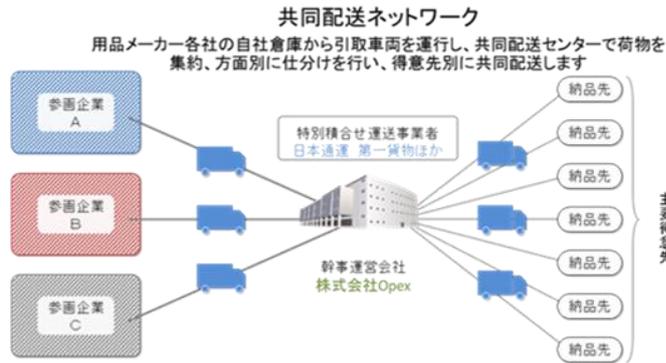
・2023 年末には 11 社の参画に広がり、配送件数は開始当初の 49 倍、配送個数は同 77 倍と大きく伸長してきている。

・今後、SDG's の観点から共同配送が配送車両の削減に伴う CO₂削減に寄与する事、小売店側の作業効率化、運送業界の 2024 年問題対策などを前面に出すことで参画企業の拡大を検討してゆく。

(2020 年度 CO₂ 排出削減効果 ▲1708.4 t /年間 従来比 ▲39%)

・具体的には、運営会社「OPEX」から以前共同配送事業に興味を持たれた企業各社へ再度の参加への協力をお願いする予定。

・現行では B to B の運送体系を取っているが、今後eコマースの利用拡大に伴いご参画企業様から B to C についての要請あるので前向きに対応を検討してゆく。



削減効果想定(2023年ベース)

| 対象先 | 出荷規模 | | 個/件 | 削減率 |
|-----|---------|---------|-----|-----|
| | 件数 | 個数 | | |
| A社 | 111,445 | 242,719 | 22 | 26% |
| B社 | 29,090 | 79,465 | 2.7 | 15% |
| C社 | 27,989 | 51,096 | 1.8 | 14% |
| D社 | 15,017 | 31,758 | 2.1 | 11% |

ゴルフ共同配送便の実績推移

| | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 開始年比 |
|-------------------------------------|---------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| 配送エリア | 関東地区量販 670 店舗 | | | 全国全業態 | | | | | |
| 参画企業数 | 2社 | 3社 | 7社 | 8社 | 9社 | 10社 | 10社 | 11社 | |
| 配送件数 | 4,998 | 42,888 | 88,962 | 125,278 | 118,536 | 144,606 | 268,843 | 245,806 | 49倍 |
| 配送個数 | 6,437 | 69,525 | 131,010 | 195,736 | 197,747 | 265,433 | 537,988 | 496,859 | 77倍 |
| 個数伸長率 | - | 1080% | 188% | 149% | 101% | 134% | 203% | 92% | |
| ※コロナ禍 2019年12月～2023年4月、2023年5月第5類移行 | | | | | | | | | |

※2023年末時点 参画会員企業（順不同、法人格略）

マジスティゴルフ、三菱倉庫(テラーメイド本体)、テラーメイド(アサガミ倉庫・修理・カスタム製造)、

セントラル工商、ライト、SRI ロジスティクス（ダンロップ製品全般扱い）、

ダンロップスポーツマーケティング（東京本社扱い）、ゴルフパートナー、ピンゴルフジャパン、プリチストンスポーツ、

大沢商会

以上 11 社

●製造メーカーのメリット

- ①配送・物流コストの削減
- ②CO2 排出量削減
- ③ダンボールなど梱包資材の業界統一基準を検討

●小売店のメリット

- ①検収、検品など荷受け作業効率化によりスタッフの接客時間の増加
- ②通い箱や梱包資材削減の取り組みによると廃棄費用の削減

3. 需要開発事業（ゴルフフェア委員会・フェア実行委員会・活性化委員会）

1) 「ジャパングルフフェア 2024」の開催（ゴルフフェア委員会・実行委員会）

① 基本方針

ジャパングルフフェアは、日本のゴルフの活性化を最大の目標としつつ、さらに国際性を追求し、アジアを代表す

るインターナショナルなゴルフショーを目指す事を基本方針とする。

- ・世界が注目するビッグマーケット、日本とアジアを中心としたゴルフ情報ターミナルとしての場。
- ・ゴルフビジネス実践の場 ◇ゴルフ産業分野間のコミュニケーションの場
- ・健全なゴルフ文化を育成し、ゴルファーを刺激する場 ◇社会貢献活動の場

②開催概要

昨年に引き続き、コンテンツの充実をはかり、一般来場者（除く18歳未満、学生）を有料とした（JGGA会員、出展社、プロゴルファー、メディアは無料）。

名称 : 第58回ジャパゴルフフェア2024 (58rd JAPAN GOLF FAIR 2024)

会期 : 2024年3月8日(金)～3月10日(日)3日間

開場時間 : 10:00～18:00 (最終日は17:00まで)

会場 : パシフィコ横浜 展示ホール (A、B、C、D 約20,000㎡)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1

主催 : 日本ゴルフ用品協会

後援 : 経済産業省、横浜市、日本ゴルフ協会、全日本ゴルフ練習場連盟、
日本ゴルフ場経営者協会、日本パブリックゴルフ協会、日本プロゴルフ協会、
日本ゴルフツアー機構、日本女子プロゴルフ協会、ゴルフ緑化促進会、
日本ゴルフトーナメント振興協会、日本芝草研究開発機構、日本ゴルフジャーナリスト協会、
ジャパゴルフツアー選手会日本ゴルフ協会、全日本ゴルフ練習場連盟

協力 : 横浜観光コンベンション・ビューロー、ALBA、BUZZ GOLF、EVEN、Golf Today、
週刊ゴルフダイジェスト、ジュピターゴルフネットワーク、バリューゴルフ、レジーナ、ワッグル

入場料 : 一般(除く18歳未満、学生)は有料

当日 1,500円、前売り 1,000円、3日間通し券 2,000円(税込)

徴収方法 : JGF公式ホームページよりオンラインクレジット決済にて徴収

当日入場もオンラインクレジット決済とし、不可の方は現金決済

動員目標 : 40,000人

企画 : 日本ゴルフ用品協会 ゴルフフェア委員会/ジャパゴルフフェア23実行委員会

運営 : ジャパゴルフフェア運営事務局(オフィス ワイズ)

③来場者データ

JAPAN GOLF FAIR 2024 来場者数表

(Number of visitors)

| | 3月8日(金) 3/8(Fri) | 3月9日(土) 3/9(Sat) | 3月10日(日) 3/10(Sun) | 合計 Total |
|---|---------------------|---------------------|-----------------------|------------------|
| 有料来場者 Paying Visitors | 3,984 4,687 | 4,413 5,375 | 2,382 2,707 | 10,779 12,769 |
| 関係者・招待者 Stakeholders & Invited Guests | 13,242 10,564 | 10,936 7,419 | 4,643 3,556 | 28,821 21,539 |
| 報道・プレス Press | 394 390 | 102 287 | 29 48 | 525 725 |
| 合計 Total | 17,620 15,641 | 15,451 13,081 | 7,054 6,311 | 40,125 35,033 |

※下段は前回(JGF2023)の来場者数

④その他 傾向値

男女比…男性75.5%（前回74.6%）：女性24.5%（前回25.4%）

年代別…10代 0.1%（前回0.1%）、20代 6.7%（同8.6%）、30代 15.7%（同16.3%）、40代 23.8%（同26.6%）、50代 36.1%（同34.7%）、60代 14.9%（同11.8%）、70代以上 2.7%（同1.9%）

居住地…東京都 31.2%(前回32.3%)、神奈川県29.8%(同30.0%)、海外0.8%（前回0.4%）、その他37.1%(37.3%)、

⑤出展社データ <出展社数>

※目標…220社、460コマ

| 出展カテゴリー | JGF2024 | | 前回 | |
|---------|---------|--------|-----|-----|
| | 社数 | コマ数 | 社数 | コマ数 |
| Aタイプ | 115 | 351 | 87 | 309 |
| Bタイプ | 43 | 68 | 33 | 51 |
| 展示試打タイプ | 19 | 21 | 17 | 17 |
| 壁面展示タイプ | 11 | 11 | 10 | 10 |
| 関連団体 | 7 | 11 | 7 | 12 |
| 練習場連盟 | 14 | 37 | 17 | 40 |
| コンポーネント | 18 | 10 | 28 | 16 |
| 合計 | 227 | 509 | 199 | 455 |
| | 114.1% | 111.9% | | |

※海外出展は、4か国 33社（中国22社、韓国6社、台湾1社、オーストラリア1社、パキスタン1社、アメリカ1社） 合計46コマ

⑥主催者企画（主催者共催）コーナー展開

a、ブランドマーケット「The New Wave of Golf」

前回に引き続き女性を中心とした新規ゴルファーの拡大を背景に、女性の興味を喚起しやすいファッション & ショッピングをテーマとし、人気ブランドの POP UP ストアを招聘しました。

・参加ブランド：BANDEL、BACKSPIN（バックスピン）、BUNCUREY、EVEN（イーブン）、MUTA MARINE、ROSASEN、UNBY（アンバイ）、WISEGOLF（ワイズゴルフ）

・実施場所：B・Cホール海寄り イベントステージ両サイド

b、コンポーネントコーナー

ゴルフクラブを各パーツを選びながら組み上げるコンポーネントクラブに関わる情報を集約。

・主催：ユニバーサルゴルフ社

・出品社：19社 ※最終数

アールゴルフジャパン、アクシスゴルフ、アジルパートナーズ、MKトレーディング、からだ工房ロコ・レガン、GENAU GOLF、JUT（ジェーユーティー）、スリーラック、ツインズ、TRPX（ティーアールピーエックス）、日幸物産、日本トリム、HANABI、PUTTIST（パットティスト）、ミラーフィット、レベルコ、和宏エンタープライズ、創建メガ、ユニバーサルゴルフ社

c、ゴルフ場 & 地域観光・物産コーナー

各地域のゴルフ場のPR及び情報発信および地域の観光PR及び特産品・物産品の販売。

・出展：2エリア 北海道観光振興機構、スポーツアイランド沖縄

d、フードコート

安定した人気の崎陽軒に加え、話題のキッチンカーによる多様なメニューを展開。

・出店店舗：崎陽軒、舎舎迦～ささか～、

・キッチンカー店舗：TOKYO COWBOY、BOX BURGER、用賀倶楽部、
VANCOUVER COFFEE ROASTERS、Scone Lab. VEGAN&.

・売上げ：崎陽軒 2,925,430 円、舎舎迦～ささか～ 734,500 円、
キッチンカー店舗合計 3,138,930 円

⑧主催者企画（主催者共催）イベント関連

a、オープニングライブ配信（会場内中継）

会期中、開場直後、ゴルフフェアのみどころをオンラインでライブ配信。

・配信日時：3月8日(金)～10日(日)～10:00～10:30

・出演：JGF 公式アンバサダー/山内鈴蘭、なみき、瀬戸晴加

b、ビジネスサポート（ビジネスマッチング交流）

従来のビジネス来場者に分類される出展社関係者に対しては、出展社による無料招待方式を導入することにより、有料化の影響をかわすと共に、JGF 会場における積極的なビジネス活動を喚起。

さらに出展社および来場者のビジネスシーンを活性化する目的で「ビジネスマッチング交流」を開催。

立食形式の和やかな会の中で、出展各社の紹介や来場者を交えた名刺交換などを実施した。

・参加企業・団体数：75社

・参加者数：127名（予約者120名 当日参加者96名 予約無し当日参加者7名）

・PRタイム：19社

・PRツール設置：27社

d、ツアープロに挑戦！ JGF×みんなゴルフコラボ企画

人気のスマホゲーム「みんなゴルフ」とJGFのコラボレーション企画、「プロに挑戦！みんなゴルフチャレンジ」を開催
今注目の若手プロゴルファー2名が「みんなゴルフ」する映像を楽しみながら、プロのスコアを予想。予想参加者には、抽選で記念品を贈呈。

・開催日時：3月9日(土)16:00～

・プロゴルファー：山下美夢有プロ、柏原明日架プロ

・実施場所：イベントステージ Cホール海寄り

・投票参加者：山下美夢有プロ 75名(当選16名)、柏原明日架プロ 95名(当選29名)

e、チャレンジコーナー/トーナメント開催コースでドラコン&ニアピンにチャレンジ

トーナメントが開催されるゴルフ場を舞台にシミュレーションゴルフでチャレンジ出来る企画。

ドラコンチャレンジは茨城GC 西コース、ニアピンチャレンジは大箱根CCで設定。

・協力：

マシン：SDR FRESH ゴルフシミュレーター

クラブ：クラブメーカー各社

ボール：ダンロップスポーツ

※試打席全体のボール協賛は、ダンロップスポーツマーケティング及びブリヂストンスポーツの2社

・参加人数：合計1,420名（ドラコン：700名 ニアピン：731名）

・売上合計：39,000円 ※特別クーポン利用 1,353枚/@500円券

f、初心者レッスンコーナー

これからゴルフを始める方にお勧めなレッスンプロによるスイング指導を実施。

・参加人数：165名

・売上合計(現金)：11,500円 ※特別クーポン利用 142枚/@500円券

g、弾道測定器体験コーナー

ゴルファーなら誰もが気になるスイング、インパクト、弾道測定、すべて見せます。普段なかなか知ることが出来ないスイングやインパクトなど弾道測定器を体験いただき、参加者のデータを計測。

・協力：マシン：Golf Swing Better POD ○クラブ：クラブメーカー各社

・参加人数：148名

・売上合計(現金)：6,000円 ※特別クーポン利用 136枚/@500円券

h、出展社によるブース内販売

・売上：38,639,677円(前回実績：28,475,225円)

※特別クーポン回収 5,179枚/@500円券(前回実績：2,105枚)

※特別クーポン精算額合計 1,294,750円

・実施出展社：46社(前回実績：55社) ※33社が特別クーポン利用出展社

99gg 飲むゴルフギア、CAG(駅前ゴルフ)、ESS、GARMIN、Golf Land Balmy NEXGEN(ゴルフパートナー)、Y'sBeck、イーグルビジョン、イジピジ、ウェルパット、レジンゴルフ、エクセル、加賀スポーツ&アドバンス、カンディニ、キーマンズ、キャロウェイゴルフ、グレンコーポレーション、グレンフィールド、ケーエスピー、ケビンバーズゴルフ、コアフォーエス、ゴルフビジョン、ジェイリンドバーグ、スティフコン、タイガトレード、ダンロップスポーツマーケティング、豊田合成、日東ボタン、ハンサゴルフ、ピレットイジヤパン、ピンアパレル、フィットユアOWN、ブッシュネルゴルフ、フランデバー、ブリガゴルフ、ブリヂストンスポーツ、フローリスト萬、ホクシン交易、マインド、マジスティゴルフ、丸真、ミズノ、ムジーク、メルシー、ライト、リンクス、ルールズゴルフ
(50音順)

i、ゴルフフェア見学ガイドツアー

毎年恒例の人気企画「見学ガイドツアー」を実施。

ガイドには、おなじみの関雅史プロ、クラブフィッター鹿又芳典氏、ゴルフライター覇原弘高氏を招き、会場内を案内。

・開催日時：3月8日(金)、9日(土)、10日(日) 各日14:00~

・ガイド・参加数：8日(金)14:00~ 関雅史プロ 17名

9日(土)14:00~ 鹿又芳典氏 17名

10日(日)14:00~ 覇原弘高氏 14名 合計：48名

・売上合計(現金)：48,000円 ※特別クーポン利用 96枚/@500円券

j、ファッションショー

例年恒例の人気企画。今回も2024最新春夏ゴルフウェアファッションショーを開催。

ファッションショーの様子はオンラインでのライブ配信も実施。

・開催日時：3月9日(土)、10日(日)両日ともに11:00~/13:00~/15:00~

・会場：イベントステージ

k、ゴルフフィットネスパビリオン

e、(株)ビテック セミナー

- ・タイトル：最先端計測器紹介及び最新事例で学ぶ GEARS スイング解析セミナー
- ・セミナー内容：最先端のゴルフスイング動作解析システムである GEARS に焦点を当て、参加者の方々に最新の事例を紹介。
- ・日 時：3月8日(金)15:30~17:30
- ・会 場：アネックスホール F206
- ・主 催：株式会社ビテック

f、(株)hacomono セミナー

- ・タイトル：ゴルフ業界最新トレンド・商圈分析から読み解くインドアゴルフの成功戦略
- ・セミナー内容：インドアゴルフ経営者様に向け、最新トレンドと商圈分析から読み解く成功戦略
- ・日 時：2023年3月9日(土) 10:30~12:00
- ・会 場：アネックスホール F204
- ・主 催：株式会社 hacomono

g、R & A ゴルフ用具規則セミナー

- ・タイトル：R&A ゴルフ用具規則セミナー
- ・セミナー内容：「ディスタンスインサイトの更新」「用具審査提出手続き関連」「用具規則の見直し関連」「今後の取り組みとエキップメントスタンダードの構造」について。
- ・日 時：3月9日(土)13:00~14:30
- ・会 場：アネックスホール F206と ZOOM による WEB 配信
- ・主 催：日本ゴルフ用品協会

h、(株)ビテック セミナー

- ・タイトル：ショットシェイピング～球筋とスコアをデザインする～ 出版記念 特別講演
- ・セミナー内容：出版の背景と今回の本のテーマ、本の概要、前作「ローポイントコントロール」との関連性、ゴルフへのアプローチの変化について。
- ・日 時：3月9日(土)13:00~15:00
- ・会 場：アネックスホール F206
- ・主 催：株式会社ビテック

⑩主催者ブース展開

■SDG'sコーナー

- ・内 容：ゴルフ業界全体の取り組みとして出展各社及びゴルフ関連企業が実践しているSDG'sの内容をパネルや現物展示を交えて紹介。また、使用済ボールの回収(※粗品進呈)や、ゴルフウェア買取コーナー(※有賀園ゴルフ)を設置。
- ・参加企業：有賀園ゴルフ、キャロウェイゴルフ、ダンロップスポーツマーケティング、二木ゴルフ、丸眞、ミズノ、日本ゴルフ用品協会
- ・使用済ボール回収数：53球
- ・ゴルフウェア買取コーナー買取数：10件 47枚

⑪関連団体 会場内展開

<コーナー展開>

- a、全日本ゴルフ練習場連盟 (JGRA) 関連コーナー
- ・使用スペース：336 m²

- ・出展社数・コマ数 : 14社 37コマ
- ・内 容 : 出展各社の展示・PR/事業活動紹介
- ・出展社 : GPRO/Xswing Golf、MIST JAPAN、WOO-EAST、岩崎電気、
 エムディーアイ VIP 事業部、オニツ、オリムピックナショナルゴルフクラブ サカワコース、喜和
 産業、
 黒潮観光開発 黒潮 CC、コーホー、シーディアイ、スポーツマインド、ディースタイル、
 帝人フロンティア、日本シー・イー・ディー (50音
 順)

<ブース展開>

- a、4 団体 (日本ゴルフ協会、日本ゴルフツアー機構、日本プロゴルフ協会、日本女子プロゴルフ協会) コーナー
 - ・内 容 : 団体各ブース (JGA、JGTO、PGA、JLPGA)、PGA・JLPGA 共有試打席
 JGA 活動内容のパネル展示、オリジナルグッズ、ルールブックの販売 等
 PGA 活動内容のパネル展示、オリジナルグッズ販売、レッスン会等
 JLPGA 活動内容のパネル展示、オリジナルグッズ販売、レッスン会 等
 JGTO 活動内容のパネル展示、オリジナルグッズ販売、プロによるトークショー・サイン会 等
- b、日本パブリックゴルフ協会 (PGS) ブース
 - ・内 容 : 活動内容のパネル展示
- c、日本ジュニアゴルファー育成協議会 (JGC) ブース
 - ・内 容 : ジュニアゴルファーに関する情報発信と収集、ジュニアゴルファー育成相談、パンフレット配布
 活動紹介
- d、JGA ゴルフ振興推進本部 ブース
 - ・内 容 : 事業活動内容の紹介。

⑫PR展開

- a、協力ゴルフメディア 媒体各社純広及びWEB掲載
 - ・掲載媒体 : ALBA、EVEN、Golf Today、ワッグル、レジーナ、週刊ゴルフダイジェスト、
 月刊ゴルフダイジェスト、バリューゴルフ
 - ・WEB掲載 : BUZZ GOLF・・・自社サイトに掲載
- b、TV番組スポットCM
 - ・ゴルフネットワーク・・・放送内30秒スポットCM放映
 - ・BSJapanext ...放送内30秒スポットCM放映
- c、その他デジタルメディア
 - ・広告 : Facebook・Instagramを利用したバナー広告。
 配信地域 : 東京都、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県
 - ・ユーザー属性 : 18～54才までの男女
 - ・興味関心 : ゴルフファン、ゴルフニュース、ゴルフ用品、イベントのチケット
 - ・インプレッション数 : 3,078,795、クリック数 : 2,243
- d、Instagram
 - ・20,000人以上のフォロワーを有する10名のゴルフ女子インスタグラマーによりPRを実施
 Instagram・Facebookと連動したJGF開催告知広告。JGF会場からの発信。LPへの誘導。
 - ・期間中合計 (リーチ 9万1253 / インプレッション 26万2577 / プロフィールアクセス 6,886)

e、臨時メールマガジン配信

- ・前回JGF2023の来場者のうち7,584名に臨時メールマガジンを配信し開催告知を実施。

f、JGF公式Youtube

- ・ライブ配信視聴数 8日(金) 16,247/9日(土) 14,562/10日(日) 8,261
- ・アーカイブ閲覧視聴回数 39,070 合計 67,272
- ・総再生回数 6万7272回/視聴者へのリーチ 59万4691回/リーチのクリック率 7.1%
- ・総再生時間 3.625時間/チャンネル登録者数 +307人

g、JGF公式サイトPV : 422,021pv(300,890pv) ※会期終了日翌朝時点での計測

⑬報道関係

■来場メディア数：3月8日(金) 394名

3月9日(土) 102名

3月10日(日) 29名

合計：525名

⑭その他

■初心者レッスン対応 PGA スタッフ派遣

- ・拘束時間 : 3月7日(木) 9:00~18:30
3月8日(金) 9:00~18:30、
3月9日(土) 9:00~18:30
3月10日(日) 9:00~17:30

・スタッフ数 : 各日 6名

・配置ポジション：弾道計測機体験コーナー、初心者レッスンコーナー

2) ペアスクランブルゴルフ大会の開催 (活性化委員会・支部実行委員会)

毎年夏季炎天下での大会となっていたが、今年は比較的気候の良い11月開催とした。

①東日本支部ペアスクランブルゴルフ大会

開催日 : 2023年11月10日(火)

開催コース : CPGカントリークラブ(千葉県市原市)

参加者 : 40組 80名(募集40組 80名)

男性46名、女性34名、男女ペア20チーム、男性ペア14組、女性ペア6組

賞品協賛社 : 22社(順不同、法人格略)

カムイワークス、テラーメイドゴルフ、日本シャフト、キャロウェイゴルフ、キャスコ、

エス・アイザック商会、ブリヂストンスポーツ、ゴルフパートナー、ミズノ、有賀園ゴルフ、

フォーティーン、アクシネットジャパンインク、セントラル工商、

ダンロップスポーツマーケティング、ピンゴルフジャパン、藤倉コンポジット、マジスティゴルフ、

デサントジャパン、朝日ゴルフ、二木ゴルフ、ホクシン交易、アルベン

競技方法 : 9ホールのペアスクランブル方式によるダブルペリア戦

優勝 チーム イナホー ハーフグロス 35 ハンディ 2.4 ネット 33.6

2位 チーム ハナ ハーフグロス 38 ハンディ 4.8 ネット 33.2

3位 チーム M&T ハーフグロス 36 ハンディ 2.4 ネット 33.6

特別賞 : ベストペア賞…チーム フルーティーズ

②西日本支部

開催日 : 2023年11月1日(水)
 開催場所 : 東条の森カントリークラブ 東条コース(兵庫県加東市)
 参加人数 : 16名/8ペア
 競技方法 : 18Hストロークプレー。ペアスクランブル方式によるダブルペリア戦
 優勝 チームサージ師弟関係
 準優勝 チーム朝日ゴルフ

3) インダストリーカップの開催(活性化委員会、支部実行委員会)

① 第13回 インダストリーカップゴルフ大会東日本会場開催

※業界内のゴルフプレイの活性化の為、13回目となる大会を開催した。

開催日 : 2023年10月2日(月)
 開催コース : 飯能ゴルフクラブ(埼玉県飯能市) ゴルフ場休業日貸切開催
 参加状況 : 参加42チーム 166名
 スクラッチ部門 15社 16チーム 63名
 アンダーハンディ部門 19社2団体 26チーム 103名
 成績 : スクラッチ部門 個人戦
 優勝 木崎 亮太 キャロウェイゴルフ グロス71
 準優勝 田野 弘幸 キャロウェイゴルフ グロス71
 第3位 桜井 政彦 キャロウェイゴルフ グロス73
 スクラッチ部門 団体戦
 優勝 キャロウェイゴルフC グロス222
 準優勝 キャロウェイゴルフD グロス227
 第3位 グロープライド グロス230
 アンダーハンディ部門
 優勝 藤倉コンポジットA ネット219.0
 準優勝 キャロウェイゴルフB ネット219.2
 第3位 日本シャフト ネット220.0

② 第12回 中部日本支部ゴルフ関連企業対抗ゴルフ大会開催概要

※中部日本地区ゴルフ業界の市場活性化を目的とし、大会を通しての情報交換と交流を図り業界の発展に寄与する為開催。

開催日 : 2023年10月18日(水)
 開催場所 : 涼仙ゴルフ倶楽部(三重県いなべ市)
 参加状況 : 参加18組 36名
 競技方法 : 18Hストロークプレー。スクラッチ団体戦
 優勝 涼仙ゴルフ倶楽部 グロス72
 準優勝 OZAXE グロス72
 第3位 大三機材 グロス72
 商品協賛 : 13社(順不同、法人格略)
 ダンロップスポーツマーケティング、ミズノ、ブリヂストンスポーツ、ヨネックス、涼仙ゴルフ倶楽部、中部練習場連盟、大三機材

4) 合同試打会の開催

① 西日本支部主催「合同大試打会」開催

※JGGA 西日本支部は関西地区で唯一の合同試打会を実施した。

開催日時 : 2024年18日(日) 10:00~16:00

会場 : ポートアイランドゴルフクラブ (神戸市中央区)

試打来場者 : 185名

試打会参加企業 : (順不同、法人格省略)

ミズノ、テーラーメイドゴルフ、キャロウェイゴルフ、朝日ゴルフ、キャスコ、グローブライド、ヤマハ、マジスティゴルフ、ピンゴルフジャパン、ヨネックス、本間ゴルフ、プロギア、ダンロップスポーツマーケティング、アクシネットジャパンインク、日本シャフト、プリチストンスポーツセールスジャパン、グラフィティデザイン、リョーマゴルフ
PAYTR(シューズ試履) 以上 18社 38打席

賞品ご協賛企業 : (順不同、法人格省略)

ミズノ、キャロウェイゴルフ、朝日ゴルフ、キャスコ、グローブライド、ヨネックス、ダンロップスポーツマーケティング、プリチストンスポーツセールスジャパン、デサントジャパン、西明石ゴルフショップ 以上 11社

4. 関連団体に対する協力事業

1) 「2023 PGA HandaCup 障がい者ゴルフ大会」への賞品提供

開催日 : 2023年10月10日(火)

会場 : 若洲ゴルフリンクス(東京都江東区)

主催 : 公益社団法人 日本プロゴルフ協会

参加者 : 7部門 合計102名(2022年参加者 80名)

(上肢16名、下肢16名、内部8名、上下肢12名、聴覚26名、視覚24名)

協賛内容 : JGGAとして各部門入賞者用の賞品協賛

ご協賛各社 : (順不同、法人格省略)

ブラックアンドホワイトスポーツウエア、プリチストンスポーツ、日本シャフト、カナモリ ゴリラ事業部、プロギア、キャスコ、ヤマト徽章、ミズノ、USTMamiya、ホクシン交易、テーラーメイドゴルフ、アクシネットジャパンインク、ゴルフパートナー、セントラル工商、マスターズ、キャロウェイゴルフ、エス・アイザック商会、フォーティーン、朝日ゴルフ、有賀園ゴルフ、ダンロップスポーツマーケティング 以上 21社

5. 関連団体との協調事業

1) ゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の活動

「ゴルフ市場活性化委員会」は当協会、(公財)日本ゴルフ協会、(一社)日本ゴルフ場経営者協会、(公社)日本パブリックゴルフ協会、(公社)全日本ゴルフ練習場連盟、日本ゴルフジャーナリスト協会の6つの団体から構成され、各団体が連携し、各団体の持つ機能を融合させ、新たなゴルフ需要創造とゴルフの健全成長に向けた様々な取り組みを推進すべく、「はじめよう、続けよう、もっとゴルフを」をスローガンに2004年11月より活動をしている。

① 「ゴルフマジ」の件(リクルートライフスタイル)

2014年より若年層のゴルフへの参加をめざし、ゴルフ市場を長期的に活性化させる為に業界を巻き込んで取組みを開始し、今年度で8期目が終了した。雪マジに代表されるマジ部(180万人以上が利用)の若者を横断的に巻き込んでレジャー体験をする若者を増やして、地域・観光産業の将来需要を作ることを目的としている。

■ 第9期(2022.4月~2023.3月)

- ・21歳・22歳とし、「無料」をフックにまずは「体験」させ、「継続する楽しさ」をサポートし、社会人でのゴルフ継続を支援する。
- ・ルール&マナーを身に着けられる様な導線創り…アプリを利用しルールやマナーが身につく仕組み
- ・若年層への情報発信…SNSへの定期的な情報発信

② 大学のゴルフ授業への協力

全国に有る782校の大学の内、体育の授業で「ゴルフ授業」を導入しているのは約580校。そのうちコースラウンドまで行うのは約50校のみ、500校強はグラウンドと体育館での授業という状況。授業の規模から想定して全国では年間数万~10万人程度の大学生がクラブを握ると推計出来る。

2017年6月に全国大学体育連合とPGA、GMACの間で、大学体育授業の充実とゴルフの普及を通じて地域社会の発展に寄与することを目的とした「連携協力に関する協定書」を締結した上で各団体が様々な活動で協力している。

- 目的 : 「ゴルフ授業」の更なる充実を目指し、受講大学生のゴルフ継続意欲を高め涯スポーツとしての「ゴルフ」実施率を向上させ結果として国民の健康寿命の延伸を図るとともにゴルフ関連産業の経営安定化と継続を実現し、地域社会の発展に貢献する。

- 協力内容 : JGGAでは大学授業で使われている古く、傷んだゴルフクラブの更新要望に応える為に会員クラブメーカーに大学ゴルフ授業の充実に向けた取り組みに対して協力を要請し、2023年度は4社から327本の提供を受け対応した。

授業で使う単体クラブ、「Gちゃれ」用のセットクラブを含めて、2023年3月までに、延べ130の大学・学部へ約5,035本のゴルフクラブと156セットのセットクラブを提供した。

- 提供先 : 2023年度は18校に対して742本の提供をした(下記明細)

| 2023年度 | メンズ | | | | レディース | | | メンズ LH | | | 合計 |
|--------------|-----|----|------|-------|-------|----|------|--------|----|------|-----|
| | Dr | Fw | Iron | Wedge | Dr | Fw | Iron | Dr | Fw | Iron | |
| 1 東京大学 | 0 | 0 | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 35 |
| 2 明治学院大学 | 13 | 0 | 5 | 10 | 15 | 0 | 15 | 0 | 0 | 0 | 58 |
| 3 滋賀大学・経済 | 5 | 5 | 10 | 10 | 4 | 4 | 2 | 0 | 3 | 1 | 44 |
| 4 群馬大学 | 10 | 5 | 13 | 10 | 4 | 1 | 5 | 0 | 1 | 3 | 52 |
| 5 滋賀大学・教育 | 2 | 0 | 5 | 0 | 5 | 0 | 10 | 0 | 0 | 2 | 24 |
| 6 東京女子大学 | 0 | 0 | 0 | 10 | 7 | 7 | 10 | 0 | 2 | 2 | 38 |
| 7 立教大学 | 10 | 0 | 0 | 40 | 0 | 0 | 5 | 0 | 3 | 1 | 59 |
| 8 九州産業大学 | 6 | 6 | 21 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 53 |
| 9 山梨学院大学 | 12 | 0 | 10 | 10 | 6 | 6 | 6 | 0 | 0 | 8 | 58 |
| 10 九州大学 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 15 |
| 11 明治大学 | 0 | 0 | 8 | 10 | 7 | 5 | 0 | 0 | 0 | 1 | 31 |
| 12 熊本学園大学 | 10 | 5 | 0 | 0 | 5 | 10 | 5 | 0 | 0 | 5 | 40 |
| 13 国土館大学 | 10 | 5 | 10 | 10 | 3 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 42 |
| 14 国際基督教大学 | 10 | 5 | 0 | 10 | 10 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 38 |
| 15 電気通信大学 | 30 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 |
| 16 帝京大学 | 5 | 2 | 17 | 20 | 2 | 4 | 3 | 0 | 0 | 3 | 56 |
| 17 帝京科学大学 | 8 | 8 | 8 | 10 | 3 | 5 | 5 | 0 | 0 | 2 | 49 |
| 18 至学館大学(追加) | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 合計 | | | | | | | | | | | 742 |

- 2023年度 クラブ提供企業社 : (順不同、商号略)

テーラーメイドゴルフ、フォーティーン、プロギア、ヤマハ 以上4社 327本

- その他協力企業 : 二木ゴルフ 川口倉庫を借用し在庫保管、配送業務作業を実施。

③ 「Gちゃれ」の開催と今後の計画

コースデビュープログラム「Gちゃれ」は「産学連携協定」以降に大学ゴルフ授業研究会及び GMAC の仲介を受けて設立され、ゴルフ授業並びにそれに準ずる教育（正課・正課外）の中でゴルフ場体験を行う活動を「Gちゃれ」としている。

JGGA 会員企業からの「Gちゃれ」用のクラブセットの寄贈も有り、「Gちゃれ」の開催拡大に繋がっている。

2023 年度は 5 月からコロナ禍も明け、20 回開催、307 名の参加があった。

2016 年～2023 年度に掛けて「Gちゃれ」は 145 回開催し、累計参加者は 2,558 名となった。

④ 「JGF2024」でのセミナー開催

タイトル：地球沸騰時代、夏のゴルフを安全に楽しむためには（ゴルフと環境ト SDGs を徹底討論

セミナー内容：地球温暖化の時代に CO²削減を含め、環境課題へのゴルフの貢献

日時：3月8日(金) 13:00～14:30

会場：アネックスホール F204 + ZOOM ウェビナーによる Web 配信

主催：ゴルフ市場活性化委員会 (GMAC)

2) 日本ゴルフサミット会議の活動

日本ゴルフ関連 15 団体で構成する日本ゴルフサミット会議は、その運営会議と連携し下記において 2023 年度のゴルフサミット会議を開催し、各団体代表者から報告があった。

サミット会議終了後に各団体代表者懇親会が開催された。

① 2023 年度ゴルフサミット会議

日時：2024 年 1 月 29 日 (月) 15:00～16:30

会場：ANA インターコンチネンタルホテル東京 B1 グローリー

出席団体：ゴルフ関連 15 団体

日本ゴルフ協会、日本ゴルフ用品協会、全日本ゴルフ練習場連盟、

日本ゴルフトーナメント振興協会、日本ゴルフ場支配人連合会、日本プロゴルフ協会、

日本芝草研究開発機構、日本ゴルフ場経営者協会、日本ゴルフジャーナリスト協会、

全国ゴルフ場関連事業協会、全国ゴルフ会員権取引業団体連絡会、

日本パブリックゴルフ協会、日本ゴルフコース設計者協会、日本女子プロゴルフ協会、

日本ゴルフツアー機構

2023 年度体制：代表幹事…日本ゴルフ協会（山中専務理事）

副代表幹事：全日本ゴルフ練習場連盟、日本ゴルフ用品協会

監事：日本ゴルフトーナメント振興協会、日本ゴルフ場支配人連合会

報告事項：各団体代表者から、2023 年の活動報告、2024 年度活動方針

審議事項：2023 年度収支報告

② サミット会議懇親会

日時：2024 年 1 月 29 日 (月) 17:00～18:30

会場：ANA インターコンチネンタルホテル東京 B1 プロミス

出席者：上記ゴルフ関連 15 団体代表者+陪席者

合計 60 名参加

3) ジュニア育成活動

① NPO 法人日本ジュニアゴルファー育成協議会 (JGC)

JGGA ジュニア委員会は、JGC（当協会を含む 10 団体で構成）と連携しジュニアゴルファーの育成に

努めている。

JGC は世界中の人々がゴルフを通じて健康的で豊かな生活がおくれるように子どもたちへのゴルフの普及啓発活動、指導者養成事業を行い社会教育の推進及びスポーツの振興に寄与することを目的に 1999 年に関連 10 団体により創設され、2004 年に NPO 法人の認可を受けた。

■事業内容

- a. それぞれの団体の活動をコーディネートし、子供たちが継続してゴルフに接し、楽しめるような環境を整える。
- b. 活動に必要なさまざまな資料を提供する。
- c. 全国各地で JGC 活動を支援協力くださっている方々を組織化し、活動の促進を図る。
- d. 事業・活動に関わるゴルフレッスンの専門指導技術のみならず社会教育学習内容を伴う講習会、研修会を開催する。

②JGC ジュニア育成指導者「コーチトレーニングセミナー」開催

③ その他

- a. ジュニアゴルフ普及事業
- b. コーチ要請事業
- c. 普及・啓発事業

4) (公財) 日本ゴルフ協会 (JGA)

- ① R & A「用具規則変更」等に関する連携
(R & Aとのミーティングの開催、R & A用具規則セミナーの開催、リリースの翻訳 etc)。
- ②「第 47 期ゴルフ用品販売技術者講習会」への講師派遣を要請。(教科：ゴルフ用具規則)

5) スポーツ用品公正取引協議会

- ①市場正常化に対応する事業活動面での連携
「スポーツ用品の表示に関する公正競争規約」の遵守に関する諸問題の解決に向けて、双方よく連携して市場正常化に向けて取り組んだ。また規約パンフレットの提供を受け、規約遵守に向けて対応した。

6) (一財) 生活用品振興センター

- ①生活用品 PLセンターの製品事故情報の入手。
- ②「模倣輸入品防止マニュアル」の提供と模倣品対策の参考資料。

6. 情報及び資料収集と整備

1) 業界に関する統計資料の整備

- ・品種別国内出荷数量・金額の統計資料、品種別輸出輸入統計資料、小売販売分析資料、ゴルフ場数・延べ利用者数などの統計資料を整備し、内外部からの問合せに対応した。
- ・ゴルフ産業白書、スポーツ産業白書、レジャー白書などを必要に応じて購入して対応した。
- ・またゴルフ場入場者情報は(一社)日本ゴルフ場経営者協会より入手し JGGA ニュースで紹介。
- ・講習会受講生に国内出荷の統計資料提供。

Ⅲ. 会議の実施状況

1. 通常総会

通常総会は、2023年6月15日（木）に学士会館で開催され、下記の事項が承認された。また終了後には4年振りとなる懇親会を開催した

■承認事項

- ①2022年度の事業報告及び決算報告について
- ②2023年度の事業計画及び収支予算について
- ③役員選任承認に関する件

2. 理事会

| | | | |
|-----|-------|-----------|----------------|
| 第1回 | 2023年 | 5月17日（水） | 於 ZoomによるWEB開催 |
| 第2回 | 2023年 | 9月13日（水） | 於 ZoomによるWEB開催 |
| 第3回 | 2023年 | 11月14日（火） | 於 ZoomによるWEB開催 |
| 第4回 | 2024年 | 3月13日（水） | 於 ZoomによるWEB開催 |

3. 各委員会・部会の開催

1) 総務委員会

2023年 5/19、10/24、11/8、2024年 3/13 計4回

2) 広報委員会

2023年 4/24、6/26、8/25、10/27、12/27、2024年 2/28 計6回

3) 講習会委員会

2023年 4/18、7/13、10/20、12/14、2024年 2/8 計5回

4) ジャパンゴルフフェア実行委員会

2023年 5/17、6/26、7/25、8/25、9/25、10/23、11/22、12/26、2024年 1/24、2/26、3/18 計11回

5) フェア委員会

開催無し

6) ゴルフ市場活性化委員会（GMAC）

2023年 4/19、5/16、6/14、7/14、9/6、10/10、11/8、12/12、2024年 1/10、2/13、3/8 計11回

7) JGGA 活性化委員会

2023年 4/11、5/10、7/18、9/5、10/11、12/7、2024年 1/19、2/13、3/25 計9回

8) 製造渉外委員会

2023年 5/11、7/6、9/13、11/14、2024年 1/11、2/29 計6回

9) 流通委員会

開催無し

以上